

令和2年度授業改善推進プラン

清瀬市立清瀬第七小学校 第4学年

	授業における課題や学力調査資料から見えた課題	授業改善のための具体策	成果と課題(年度末)
国語	<p><知識・技能> ・言語に関する基本的な知識・技能を定着させること。</p> <p><思考力・判断力・表現力> ・伝えたいことを明確にして文章を書かせること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新出漢字を毎日2～3文字ずつ計画的に学習したり、小テストを繰り返し行ったりすることで、漢字の定着を図る。 ・ローマ字は、外国語活動やパソコンを使う時のローマ字入力などを通して習熟を図る。 ・国語辞典を使う機会を多く設け、語彙を増やせるようにする。 ・日々の学習で文型を提示し、言葉を当てはめて文章を書く練習をしたり、作文帳の宿題を通して「書くこと」への抵抗感を減らしたりする。 	
社会	<p><思考力・判断力・表現力> ・資料から必要な情報を読み取り、社会的事象の相互の関連を捉えさせること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・グラフや表の読み方(表題、縦軸、横軸、全体を見て言えること、比較して考えられることなど)を繰り返し指導する。 ・算数や総合的な学習など他教科とも関連付け、繰り返し資料を読み取る練習をさせる。 	
算数	<p><知識・技能> 面積、角の大きさについて理解し、図形の面積を求めたり角の大きさを測定させたりすること。</p> <p><思考力・判断力・表現力> 数とその表現や数量の関係に着目し、目的にあった表現方法で計算の仕方を考察させること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・単位正方形の個数と面積公式の関係をつかみ、公式の意味を理解して、活用できるようにする。 ・分度器による測定スキルを定着するために、繰り返しの演習を行うこと。 ・計算の意味と手順を関係づけて考えノートに記録し、交流する場面を増やしていくこと。 	
理科	<p><思考力・判断力・表現力> ・根拠のある予想を立てさせること。</p> <p>・実験・観察結果から考察をさせること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・予想をする際、どこに着目したら良いのかを示したり、自分の生活経験から考えるように促したりする。 ・表やグラフに実験結果をまとめたり、共通点や差異点を分かりやすく板書したりする。 	
総合	<p><まとめ・表現する力> ・調べた情報から、大切なことや自分の伝えたいことを取捨選択してまとめさせること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館を活用し、本や資料から自分の調べたい情報を探す活動を通して、情報収集の仕方にふれる機会を増やす。 ・インターネットの情報を丸写しにして調べ学習を終えないように、本やインタビューなど多様な取材方法ができるように声をかけたり、他教科と連動したりしていく。 ・資料の丸写しにならないよう簡単な言葉に直したり、文章を削ったりして自分の言葉でまとめ表現できるように指導する。 	
音楽	<p><知識・技能> ・タンギングや音色に気を付けながら、鍵盤ハーモニカや楽器を演奏させること。</p> <p>・楽器の演奏の仕方を理解し、正しい奏法で演奏させること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな楽器の奏法を正しく知り、グループやクラスで合奏をするとともに、クラス全体、グループ、個人などの活動を工夫しながら、一人一人が自信をもって演奏できるようにする。 	
図画工作	<p><知識・技能> ・児童間の基本的な技能の差を小さくすること。</p> <p>・いままで習った基本的な技能を確認し、定着させること。</p> <p><思考・判断・表現> ・自分のイメージを基に、表し方を試行錯誤しながら粘り強く取り組ませること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な技能の習得が早い児童が遅れている児童を教える場を設ける。 ・ワークシートなどを活用して、何度も挑戦できるように課題を用意する。 ・課題の難易度を調整して、より多くの子供が作品を時間内に完成できるようにする。 ・良い作品を全体に見せて褒める回数を増やし、他の児童の良いところを真似したり、参考にしたりできるようにする。 	
体育	<p><知識・技能> ・発達段階に応じた運動能力を身に付けさせること。</p> <p><思考力・判断力・表現力> ・自分の課題への取り組み方を工夫させること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・体育の時間を通して様々な運動に親しめるようにし、体を動かす機会を増やす。 ・課題別にグループ分けを行い、場の設定を工夫する。 	
外国語活動	<p><学びに向かう人間性> ・積極的に外国語を用いてコミュニケーションを図る活動をさせること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・フラッシュカードやチャンツを活用し、英単語や会話文を何度も発音させることで、英語で話すことへの抵抗感を少なくする。 ・会話文の型や例文を板書するなど、参考例を多く提示するようにする。 ・簡単なゲームやアクティビティを多く取り入れ、消極的な児童も楽しく活動することができるようにする。 	
道徳	<p>・自分の考えをもち、表現させること。</p> <p>・多様な考えに触れ、ねらいとする価値について自分の考えを深めさせること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・個人で考える時間を十分にとる。 ・児童が切実に考えられる主発問や、ねらいとする価値にせまる発問を用意する。 ・ペアやグループでの話し合い活動を積極的に取り入れることで、一人一人が考えを表現する機会を増やし、多様な考えに触れられるようにする。 	